

1 調査の目的

第7次島根県看護職員需給見通し（H22.12）によると、需要数が供給数を上回る状態が中期的に継続する見通しであるため、今後の島根県における看護職員確保対策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査期日 平成25年10月1日現在
- (2) 調査対象 県内に所在する病院（53病院）
- (3) 回答状況 53病院（100%）
- (4) 調査条件 必要数は、現行の診療体制を基本とし、平成26年4月1日に必要な人員。
現員数は、調査期日現在の人員とし、非正規雇用職員については、1週間の当該施設の看護職員の通常の勤務時間により、常勤換算。

3 調査結果の概要

(1) 必要数・現員数・充足率(正規雇用・非正規雇用)

必要数	: 6, 280人 (前年比+26人)
現員数	: 6, 071人 (前年比+64人)
うち正規雇用職員	: 5, 875人 (前年比+80人)
差引不足数	: △209人 (前年は△247人)
充足率	: 96.7% (前年比+0.7%)

〔病院が看護職員の増を必要とする主な理由〕

- ・夜勤体制の強化（2人体制→3人体制 など）
- ・夜勤回数の減少（月平均夜勤日数8日以内 など）
- ・有給休暇取得、時短勤務などの勤務環境の整備 など

(2) 採用数(H24.4.1~H25.3.31) (正規雇用)

採用数	: 496人 (前年比△4人)
うち新卒者	: 273人 (前年比△11人)
「採用数」内訳	
新卒者	273人(55.0%)、施設間異動191人(38.5%)、未就業から32人(6.5%)
・病院の採用計画に対する採用実績は	81.2% (前年比+4.5%)

(3) 退職者数・離職率(H24.4.1~H25.3.31) (正規雇用)

退職者数	: 395人 (前年比+40人)
うち新卒者	: 21人 (前年比+10人)
離職率	: 6.9% (前年比+0.6%)
うち新卒者	: 7.7% (前年比+3.8%)

(注) 施設間異動者を含む

(1) 看護職員数

◆看護職員数は、引き続き増加している。

非正規雇用職員を含めた看護職員全体数は、平成24年4月と平成25年4月を比較すると66人(1.0%)増加している。うち正規雇用職員は、80人(1.4%)増加している。

圏域別に見ると、大田、浜田圏域において、正規雇用職員数が減少している。

■看護職員全体【地区別集計】

	平成24年4月1日	平成25年4月1日	増減
松江	2,413	2,445	32
雲南	341	351	10
出雲	1,866	1,940	74
大田	319	316	▲3
浜田	787	750	▲37
益田	642	628	▲14
隠岐	126	130	4
県計	6,494	6,560	66

※「平成24年4月1日」は、昨年度の調査結果

■正規雇用職員【地区別集計】

	平成24年4月1日	平成25年4月1日	増減
松江	2,130	2,154	24
雲南	282	290	8
出雲	1,684	1,743	59
大田	295	291	▲4
浜田	723	694	▲29
益田	578	592	14
隠岐	103	111	8
県計	5,795	5,875	80

※「平成24年4月1日」は、昨年度の調査結果

■看護職員全体【規模別集計】

	平成24年4月1日	平成25年4月1日	増減
400床～	2,369	2,437	68
200床～399床	2,390	2,409	19
100床～199床	1,321	1,301	▲20
20床～99床	414	413	▲1
県計	6,494	6,560	66

※「平成24年4月1日」は昨年度の調査結果

■正規雇用職員【規模別集計】

	平成24年4月1日	平成25年4月1日	増減
400床～	2,182	2,238	56
200床～399床	2,121	2,138	17
100床～199床	1,122	1,131	9
20床～99床	370	368	▲2
県計	5,795	5,875	80

※「平成24年4月1日」は昨年度の調査結果

(2) 看護職員【正規雇用職員】の採用の状況

※採用計画が「無い」あるいは「不明」の病院については、採用者数をそのまま採用計画数とみなして集計した。

【圏域別集計】

◆年間採用計画に対する採用実績は、81.2%（昨年度より4.5ポイント上昇）

平成24年度1年間の採用の状況は、県全体で見ると、採用計画611人に対して採用496人で採用計画に対する採用の割合は81.2%。出雲、大田、隠岐圏域が県平均を上回っている。

採用計画に対する採用者を昨年度と比較すると、採用計画数は41人(6.3%)減少、採用者数は4人(0.1%)減少している。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日

	計画	応募	採用	採用／計画
松江	209	195	156	74.6%
雲南	23	17	17	73.9%
出雲	186	205	173	93.0%
大田	22	18	18	81.8%
浜田	87	67	67	77.0%
益田	73	54	54	74.0%
隠岐	11	11	11	100.0%
県計	611	567	496	81.2%
H23	652	587	500	76.7%
H22	656	633	508	77.4%
H21	784	709	536	68.4%
H20	708	717	552	78.0%

◆新卒者が前年度比で11人（3.9%）減少しているが採用者全体の中で大きなウエイト

採用者496人の内訳を見ると、新卒者が273人である。うち県内学校養成所出身者が158人、県外学校養成所出身者が115人で採用者全体の55.0%が新卒者である。他施設からの異動による採用は191人（38.5%）、未就業者からの採用が32人（6.5%）となっている。採用者に占める新卒者の割合が県平均を上回っている圏域は、松江、出雲圏域である。

平成24年度は23年度に比べ、新卒者が11人（3.9ポイント）減少し、他施設からの異動、未就業からの採用はほぼ横ばいである。

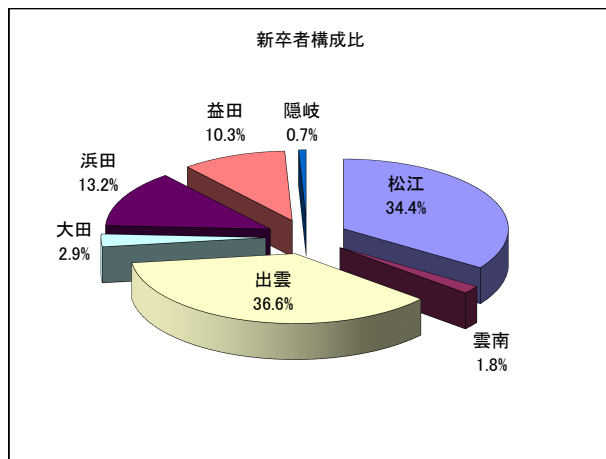
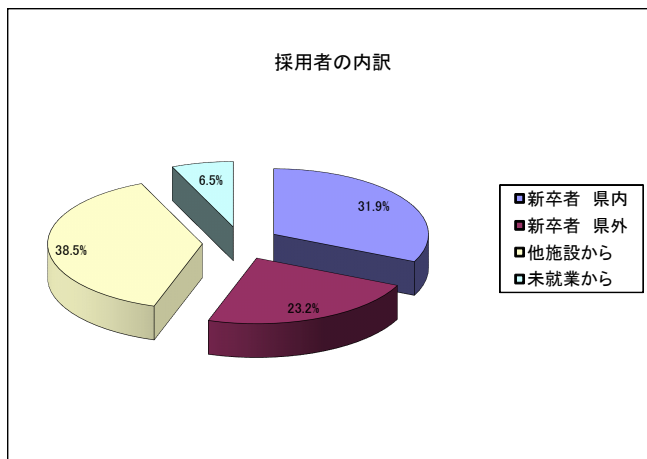
(2) 看護職員の採用の状況

■平成24年4月1日～平成25年3月31日

	採用	採用者の内訳					新卒／採用	他施設／採用	未就業／採用	新卒者構成比
		新卒者			他施設から	未就業から				
		県内	県外	計						
松江	156	49	45	94	51	11	60.3%	32.7%	7.1%	34.4%
雲南	17	5		5	11	1	29.4%	64.7%	5.9%	1.8%
出雲	173	56	44	100	67	6	57.8%	38.7%	3.5%	36.6%
大田	18	8		8	10		44.4%	55.6%	0.0%	2.9%
浜田	67	28	8	36	25	6	53.7%	37.3%	9.0%	13.2%
益田	54	11	17	28	22	4	51.9%	40.7%	7.4%	10.3%
隠岐	11	1	1	2	5	4	18.2%	45.5%	36.4%	0.7%
県計	496	158	115	273	191	32	55.0%	38.5%	6.5%	100.0%

H23	500	173	111	284	190	26	56.8%	38.0%	5.2%	
H22	508	158	72	230	224	54	45.3%	44.1%	10.6%	
H21	536	154	104	258	225	54	48.1%	42.0%	10.1%	
H20	552	154	67	221	282	49	40.0%	51.1%	8.9%	

※「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。



【病床規模別集計】

◆特に400床以上の病院において、採用計画に対する採用実績が高い。

平成24年度1年間の採用状況は、すべての病床規模で、採用計画に対して7割以上の採用ができていますが、100床未満の病院は71.4%と他の規模の病院と比べ採用実績が低い。

採用計画に対する採用実績の割合を昨年度と比較すると、400床以上の病院で2.5ポイント低下したほかは、いずれの病床規模の病院でも上昇している。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日 【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用／計画	採用／計画 (H23年度)
400床～	231	278	212	91.8%	94.3%
200床～399床	209	157	157	75.1%	65.7%
100床～199床	122	97	92	75.4%	72.7%
20床～99床	49	35	35	71.4%	60.0%
県計	611	567	496	81.2%	76.7%

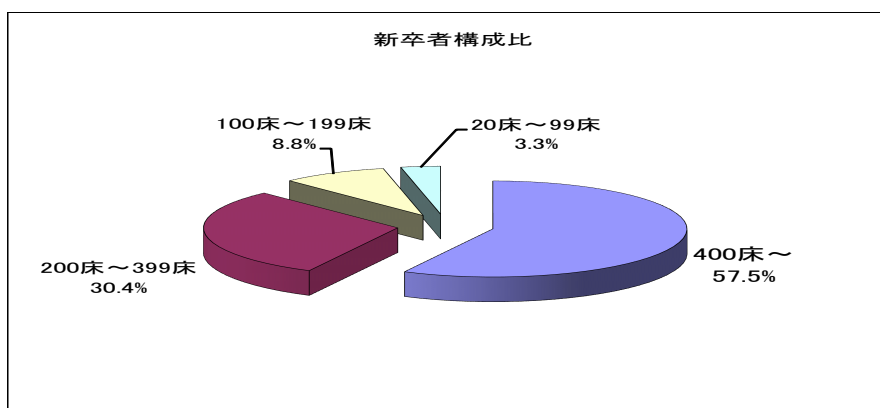
◆新卒者の採用が400床以上の病院規模で前年度より増加

採用者に占める新卒者の割合について、400床以上の病院では採用者の概ね4分の3であるのに対し、200床未満の病院では採用者4分の1にとどまっている。

新卒者の採用人数を前年度と比較すると、400床以上の病院で10人増加、200床～399床の病院で5人減少、100床～199床の病院で15人減少、20床～99床の病院で1人減少している。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用者の内訳					新卒/採用	他施設/採用	未就業/採用	新卒者構成比
				新卒者		計	他施設から	未就業から				
				県内	県外							
400床～	231	278	212	90	67	157	45	10	74.1%	21.2%	4.7%	57.5%
200床～399床	209	157	157	49	34	83	70	4	52.9%	44.6%	2.5%	30.4%
100床～199床	122	97	92	11	13	24	59	9	26.1%	64.1%	9.8%	8.8%
20床～99床	49	35	35	8	1	9	17	9	25.7%	48.6%	25.7%	3.3%
県計	611	567	496	158	115	273	191	32	55.0%	38.5%	6.5%	100.0%



(3) 看護職員の退職の状況

※急な中途退職に対して代替職員が確保できているかという観点からの数値といわゆる離職率について集計した。

【圏域別集計】

◆退職者総数は、40人増加

◆中途退職者のうち代替職員を確保できたのは約5割にとどまっている。

平成24年度1年間の退職者は395人であり、前年度より40人（11.3%）増加した。このうち中途退職者は273人であり、年間の退職者の69.1%を占める。

この中途退職者に対して翌年3月までに代替職員が確保できた割合は45.4%と、およそ半数にとどまっている。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
松江	151	124	66	53.2%
雲南	10	2	2	100.0%
出雲	108	45	23	51.1%
大田	14	9	5	55.6%
浜田	74	65	20	30.8%
益田	33	24	5	20.8%
隠岐	5	4	3	75.0%
県計	395	273	124	45.4%
H23	355	171	80	46.8%
H22	353	215	144	67.0%
H21	385	190	111	58.4%
H20	451	271	170	62.7%

※「中途退職者」とは、定期の退職日以外に退職した者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、中途退職者にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

【病床規模別集計】

◇ 特に、400床以上の規模の病院において代替職員の確保が困難な傾向

■平成24年4月1日～平成25年3月31日【規模別集計】

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
400床～	136	75	21	28.0%
200床～399床	154	107	57	53.3%
100床～199床	73	62	32	51.6%
20床～99床	32	29	14	48.3%
県計	395	273	124	45.4%

離職率

【圏域別集計】

◇ 平成24年度の看護職員全体の離職率は6.9%であり前年度より0.6ポイント上昇した。新卒者の同年度内の離職率は7.7%であり前年度と比べ3.8ポイント上昇した。

看護職員全体の離職率を圏域別に見ると、松江、浜田圏域が県平均を上回っている。

〔参考〕全国数値 全産業離職率（一般労働者）11.5%（平成24年数値：雇用動向調査：厚生労働省）

看護職員（常勤） 10.9%（平成23年度数値：病院看護実態調査：日本看護協会）

新卒看護職員（常勤） 7.5%（平成22年度数値：病院看護実態調査：日本看護協会）

「一般労働者」：「短時間労働者」以外の労働者。

「短時間労働者」：1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者。

□看護職員全体の離職率

	離職率
松江	7.2%
雲南	3.6%
出雲	6.4%
大田	4.8%
浜田	10.5%
益田	5.7%
隠岐	4.8%
県計	6.9%

H23	6.3%
H22	6.3%
H21	7.1%
H20	8.5%

□新卒者の離職率

	離職率
松江	8.5%
雲南	0.0%
出雲	10.0%
大田	0.0%
浜田	0.0%
益田	10.7%
隠岐	0.0%
県計	7.7%

H23	3.9%
H22	4.8%
H21	6.0%
H20	5.0%

【病床規模別集計】

◇ 看護職員全体の離職率は、100床未満の病院がそれ以外の病院に比較して高い傾向にある。新卒者の離職率については、200床未満の病院が高くなっている。

看護職員全体の離職率を昨年度と比較すると、100～199床の病院において離職率が低下している。

□看護職員全体の離職率

	離職率	離職率(H23)
400床～	6.3%	5.8%
200床～399床	7.3%	5.8%
100床～199床	6.5%	7.6%
20床～99床	8.7%	7.3%
県計	6.9%	6.3%

□新卒者の離職率

	離職率	離職率(H23)
400床～	5.1%	3.4%
200床～399床	8.4%	2.3%
100床～199床	12.5%	7.7%
20床～99床	33.3%	10.0%
県計	7.7%	3.9%

(4) 看護職員の休職等の状況

※急な休職等に対して代替職員が確保できているかという観点から数値を集計した。

【圏域別集計】

◆休職者等に対する代替職員の確保割合は約4分の1。

平成24年度1年間に休職などを開始した看護職員数は470人であり、前年度より63人（15.5%）増加した。

この休職者等に対して翌年3月末までに代わりの看護職員が確保できた割合は26.2%と、約4分の1にとどまっている。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
松江	149	30	20.1%	137
雲南	27	7	25.9%	19
出雲	179	66	36.9%	152
大田	32	1	3.1%	26
浜田	42	13	31.0%	38
益田	30	4	13.3%	37
隠岐	11	2	18.2%	6
県計	470	123	26.2%	415

H23	407	127	31.2%	398
H22	387	141	36.4%	327
H21	416	159	38.2%	308
H20	403	180	44.7%	310

※「休職者等」とは、出産や育児に係る休暇、その他休職、長期研修などにより勤務していない者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、休職者等にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

※「実休職者等数」の数値は、平成25年10月1日現在休職等をしている者の数をいう。

【病床規模別集計】

◇ 400床以上の病院では、休職者が172人→200人と28人増加した一方、代替確保職員は65人→41人と24人減少したため、代替職員確保率が37.8%→20.5%と17.3ポイント低下。

100床未満の病院では、休職者が16人→20人と4人増加した一方、代替確保職員が7人→12人と5人増加したため、代替職員確保率が43.8%→60.0%と16.2ポイント上昇。

その他の規模の病院の代替職員確保率は、ほぼ横ばいであった。

■平成24年4月1日～平成25年3月31日【規模別集計】

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
400床～	200	41	20.5%	193
200床～399床	162	41	25.3%	156
100床～199床	88	29	33.0%	53
20床～99床	20	12	60.0%	13
県計	470	123	26.2%	415

(5) 看護職員の必要数

【調査の方法】

病院の部門（入院、外来、管理）ごとに、現行の看護配置基準等の体制を基本（体制の変更を含む）とした上で、平成26年4月1日に病院が必要と見込む人数と現員数を比較した。

※例えば、看護職員の不足によりやむを得ず病棟を休止している場合には、休止前の体制に必要な人数を、看護配置基準を上位の基準に移行する計画がある場合には当該体制を実施するために必要な人数をそれぞれ調査した。あわせて、その理由も調査した。

◇ 県全体での看護職員の充足率は、96.7%である。雲南、大田、益田圏域が県平均を下回っている。

◇ 各病院は、平成26年4月1日に向けて、さらに324人の看護職員が必要であると考えている。

◇ 必要数を前年度と比較すると、差引必要数が38.2人（15.4%）減少したが、最大必要数は48.0人（17.4%）増加した。

〔病院がさらに看護職員を必要とする主な理由〕

- ・夜勤体制の強化（ex. 2人体制→3人体制）
- ・夜勤回数の減少（ex. 月平均夜勤日数8日以内）
- ・有給休暇取得、時短勤務などの勤務環境の整備
- ・産休・育休取得者の増
- ・病床利用率の拡大
- ・看護配置基準を上位の基準に移行（ex. 10対1→7対1）

◇ 病床規模が小さくなるほど看護職員の充足率が低くなる傾向。

【圏域別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
松江	2,322.4	2,260.1	62.3	97.3%	79.7
雲南	368.3	327.1	41.2	88.8%	41.2
出雲	1,810.8	1,769.3	41.5	97.7%	73.6
大田	315.3	298.3	17.0	94.6%	17.8
浜田	749.4	731.1	18.3	97.6%	64.1
益田	582.3	557.6	24.7	95.8%	43.0
隠岐	131.6	127.3	4.3	96.7%	4.3
県計	6,280.1	6,070.8	209.3	96.7%	323.7
H23	6,253.9	6,006.4	247.5	96.0%	275.7
H22	6,261.2	5,996.2	265.0	95.8%	325.3
H21	6,129.4	5,921.1	208.3	96.6%	290.1
H20			299.0		354.3

☆各病院における平成26年4月の体制を考慮した調査時点での差引必要数

※「最大必要数」は、差引必要数が0以上(a≥b)の病院の数値のみを合計したもの。

【病床規模別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
400床～	2,237.6	2,223.0	14.6	99.3%	52.3
200床～399床	2,424.9	2,280.2	144.7	94.0%	155.1
100床～199床	1,211.6	1,182.7	28.9	97.6%	72.3
20床～99床	406.0	384.9	21.1	94.8%	44.0
県計	6,280.1	6,070.8	209.3	96.7%	323.7